



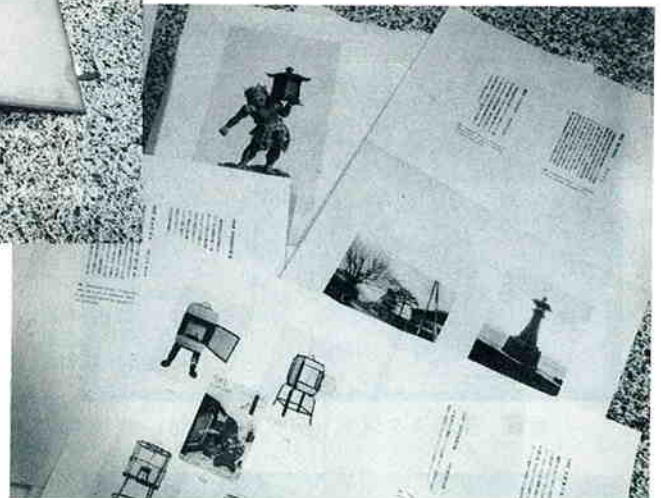
# 照明普及会だより

第15号

発行・社団法人照明学会・照明普及会

〒100 東京都千代田区有楽町1-7-1  
有楽町電気ビル 北館5F  
平成5年3月

## 日本古燈器大観



60年以上も前の、昭和6年に出版・発行された『日本古燈器大観』が京都で原形状態を保ち保管されている。

当時の『関西智識普及委員会・関西委員会』が出版したもので、桐箱入りの、B3サイズを二つ折にした200部からなり、608点にのぼる日本古来の灯火器具の数々をモノクロの写真、浮世絵などで紹介している。

中には、現在ではどの家庭でもある照明付き洗面化粧台のルーツではと思われる、鏡の両サイドにローソク台を設けた鏡台も収録されている。

近年、復刻版が発行されているが、初版当時、これだけのネタ集めはさぞ大変だったろうと先人の苦勞が偲ばれ、今後とも大切に保管し、次代層への財産としたい。

## 関西地区普及活動状況

和歌山県では、工業高校生を対象に昭和50年から照明コンクールを実施しています。

このコンクールは、日常の生活に最も身近な照明を題材として、工業高校生に照明器具の機能やデザインを考案させ、また、快適な生活空間を演出する照明方法を設計させて競うものです。

工業高校生が、学校で機能や性能に重点を置いた生産技術を習得するだけでなく、完成品としての優美さを考える力をつけると共に、自由な発想をさせて、そのアイデア性とデザイン性の両面から創作力の育成をねらいとして始めたものですが、応募作品数は今や年々1,000点を越すようになってきました。

このコンクールは、生徒にとって

1. 身近な題材であること
2. 手軽に取り組めること
3. 工夫する楽しさがあること

などの特色が受けて、今後もさらに普及するものと思われれます。

平成6年度から文部省の指示に従って、全国の工業高等学校では新・学習指導要領に基づい

て『課題研究』という新しい科目を取入れることとなりますが、この科目の目標は、生徒に自由に発想をさせ、創造性豊かな技術力を育てることにあります。したがって、このコンクールの狙いと一致しますので、身近かで手軽な面から、全国の工業高校生に恰好の題材として広がる可能性を秘めています。

最近、日本人の生活が豊かになり、より個人的でハイグレードなものを求めるようになりました。

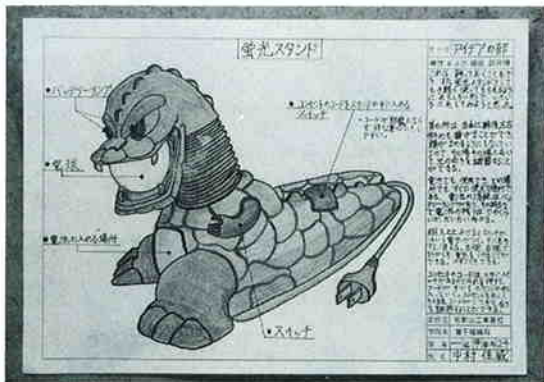
また、国際化が急速に進む中で、欧米先進国の技術を真似るだけに止まらず、日本でまったく新しい照明思想を創造し、独創的な照明技術を創り上げて世界のリーダーとして、人々に貢献することが叫ばれつつあります。

21世紀を担う若人達の逞しい創造力を育成するため、このコンクールが一層普及し、さらに充実発展させたいと思いますので皆様方のご支援・ご協力をお願いいたします。

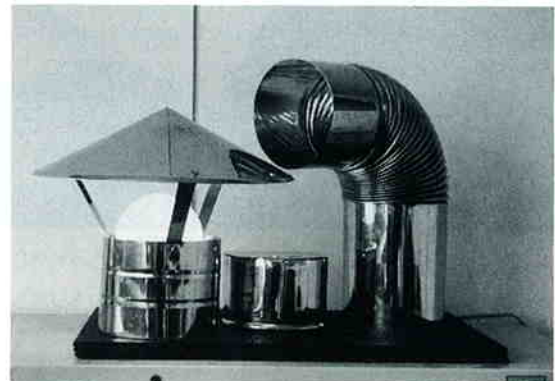
和歌山県教育研究会工業部会 会長

(県立和歌山工業高等学校 校長)

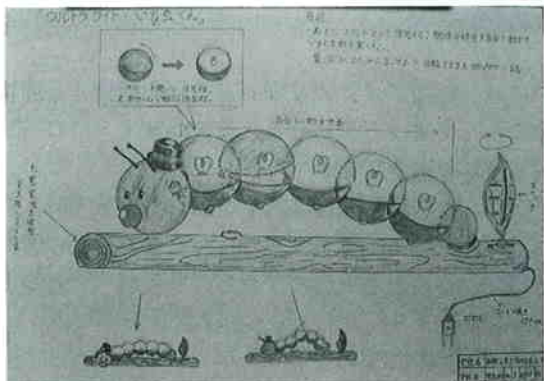
青木 史朗



金賞 蛍光スタンド (デザインの部)



金賞 音に反応して点滅する照明器具 (製作の部)



優秀作品 (デザインの部)



審査風景

# ライトアップアンケート

## <調査結果速報>

平成4年度事業計画の一環として実施しました(期間平成4年10月～5年1月)、ライトアップに関するアンケート結果の速報をお知らせします。

### 1. アンケート実施件数

- 受入れ側の立場として一般市民979件
- 実施側の立場として自治体493件

### 2. アンケート結果

〔一般市民〕

今回のアンケート協力者の内訳は、男性56%、女性44%とほぼ半々、年代別には20代18%、30代～40代54%、50代以上28%の構成となっている。ライトアップ自体の理解度別の構成は、

- 実際を見たことがありよく知っている……………89%
- テレビか写真で見た程度……………9%
- 話を聞いた程度……………2%

となっている。

#### ○ライトアップの賛否について(図1参照)

- 87%の人が賛成している。
- 2%の人が反対している。

#### ○賛成の根拠

「夜間の景観の美しさ」が最も多く、ついで「地域の活性化」を上げている人が多かった。

#### ○反対者の意見

反対者は全数で21件と僅かであったが、「省エネの観点から無駄づかい」・「自然の秩序が乱れる」ことを反対の根拠としていた。

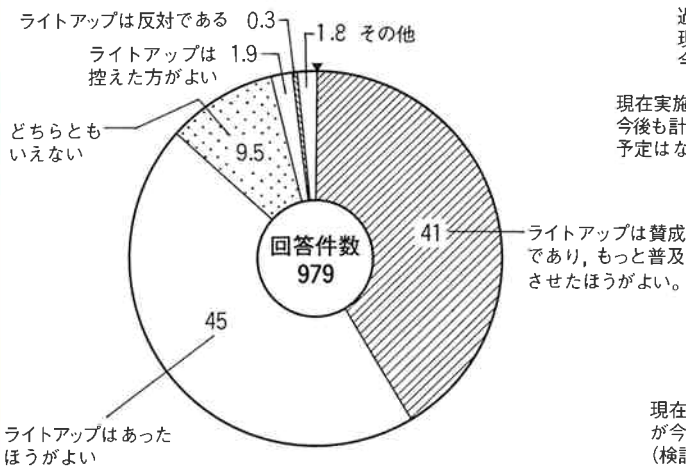


図1 ライトアップの賛否について〔一般市民〕

#### ○ライトアップの対象

ライトアップの希望対象については、歴史的建物・シンボルトワー・橋梁の順になっている。

〔自治体〕

#### ○ライトアップの実施状況

今回アンケートに協力してもらった自治体の内65%がライトアップを実施しており、その中で40%強が今後も計画をされていた。

#### ○ライトアップの目的

ライトアップの目的については、一般市民の期待している内容とほぼ同じ傾向を示し、「地域の活性化」「夜景を美しく」を目的としている。

#### ○対象施設の選定

ライトアップの選定については、殆ど自治体主導で行われている。

#### ○自治体を感じている市民の反応について

自治体の一番気になる市民の反応については、90%が市民から好評を受けたと分析をしている。

#### ○省エネの観点からのライトアップの考え方

最近省エネの観点から、16%の自治体が点灯期間を短くしたと回答しているが、48%の自治体が省エネよりライトアップの効果を期待しており変更せず継続実施している。(図2参照)

#### ○ライトアップ実施に当たっての悩み

理想的な建物が無い、コストが掛かり過ぎる、周辺への光の影響などをあげている。

なお、詳しい報告書は別途作成します。

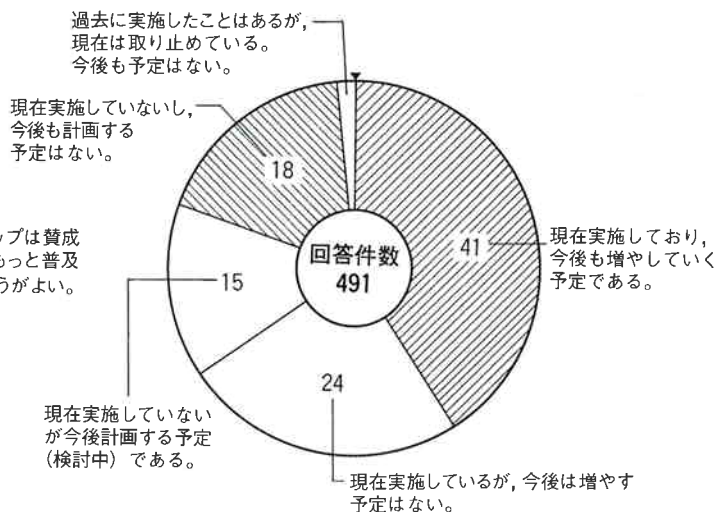


図2 ライトアップの実施状況と今後の予定〔自治体〕

## 平成4年度照明普及会事業活動経過報告

1. 「普及会だより」の発行
  - 12号 4年6月 850部
  - 13号 4年11月 1,350部
  - 14号 4年12月 850部
  - 15号 5年3月 850部
2. 「すまいの照明マニュアル」の発行
  - 発行 5年2月
  - 単価 2,400円
  - 維持員特価 1,850円
  - 発行部数 6,000部
3. ライトアップ意識調査
  - アンケート調査 4年10月～5年1月  
(各電力の協力により実施済)
  - 集計・分析 5年2月
  - 報告書作成 5年3月予定
  - サンプル内訳 自治体 493件  
市民 979件
4. 照明普及賞の表彰
  - 推薦募集 5年2月1日
  - 地区審査 5年3月5日普及会提出
  - 本部審査 5年3月12日運営委員会
  - 表彰 5年5月28日総会席上で表彰
5. 「あかりの日」キャンペーン
  - 10月21日全国10地区で街頭キャンペーンを実施
6. 刊行物の発行
  - 発行計画
    - あたらしい照明
      - 114号 4年5月発行 4,500部  
単価 900円
      - 115号 5年3月予定 4,000部  
単価 900円
    - 照明教室
      - 70号 ショップライティング 4年12月発行 4,000部  
単価 1,250円
7. 照明普及活動の推進
  - 各地区での自主活動
8. 運営委員会・事業連絡会
  - 運営委員会
    - 第1回 平成4年12月4日
    - 第2回 平成5年3月12日
  - 事業連絡会
    - 第1回 平成4年8月31日～9月1日  
於いて中部電力(株)
    - 第2回 平成5年3月1日 於いて東京
9. 「照明と省エネルギー」小冊子の発行
  - 専門部会発足 平成5年2月
  - 住宅を対象にエンドユーザー向けの視環境を維持した省エネ照明手法のPR資料を作成する方向で検討中

### 照明普及賞応募，表彰数（平成4年）

平成4年の照明普及賞の審査が行われ、応募件数は、389件となった。  
なお、授与式は5月下旬の第37回照明普及会維持員総会で行われる。

地区 件数	北海道	東北	東京	北陸	東海	関西	中国	四国	九州	全国
応募件数	40	61	54	23	61	61	25	15	49	389

### 刊行物紹介

- ① 『住まいの照明マニュアル』(照明普及会編)  
平成5年2月15日発行 定価2,400円(送料別)  
3月末まで照明学会会員，照明普及会維持員には割引価格で販売。B5判 72ページ。オールカラー 写真120点ほぼ各ページにイラストを配置。
- ② あたらしい照明シリーズ No.115  
『余暇時代のスポーツ照明』特集号  
平成5年3月15日発行 定価 900円(送料別)  
A4判 24ページ オールカラー  
50施設あまりの施設事例を掲載。  
具体的手法解説は平成5年5月発行予定の照明教室シリーズ No.71『余暇時代のスポーツ照明』に掲載。